

## 別表第二

### 1. 鉄筋コンクリート造（基礎用）

	項目・記号	内容	単位
諸 条 件	はりの符号	—	—
	はりの位置	—	—
	検定位置	—	—
	コンクリートの種類及び設計基準強度	—	—
	主筋の種類及び品質	—	—
	主筋の本数及び径（上端筋一段・二段）	—	—
	主筋の本数及び径（上端筋一段・二段）	—	—
	あばら筋の種類及び品質	—	—
	あばら筋の本数及び径及び間隔	—	—
	l	部材の長さ	ミリメートル
	l <sub>0</sub>	部材の内法長さ	ミリメートル
	B	はり断面幅	ミリメートル
	D	はり断面せい	ミリメートル
	d	はりの有効せい	ミリメートル
	b	床版の幅	ミリメートル
j	応力中心距離（7/8d）	ミリメートル	
応 力	M <sub>L</sub>	長期曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q <sub>L</sub>	長期せん断力	キロニュートン
	M <sub>E</sub>	地震時曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q <sub>E</sub>	地震時せん断力	キロニュートン
	M <sub>S</sub> （上端・下端）	短期曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M <sub>V</sub> （上端・下端）	降伏曲げモーメント	キロニュートンメートル

	$Q_D$	短期設計用せん断力	キロニュートン
曲 げ	$M_{AL}$	長期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル
	$M_{AS}$ (上端・下端)	短期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル
	$M_L / M_{AL}$	—	—
	$M_S / M_{AS}$	—	—
	判定結果	—	—
せん 断	$Q_{AL}$	長期許容せん断力	キロニュートン
	$Q_{AS}$	短期許容せん断力	キロニュートン
	$Q_L / Q_{AL}$	—	—
	$Q_D / Q_{AS}$	—	—
	判定結果	—	—
付 着	$\tau_a$	付着応力度	一平方ミリメートルにつきニュ ートン
	$f_a$	許容付着応力度	一平方ミリメートルにつきニュ ートン
	$\tau_a / f_a$	—	—
	判定結果	—	—

## 2. 耐力壁用

	項目又は記号	内容	単位
諸 条 件	耐力壁等の符 号	—	—
	耐力壁等の位 置	—	—
	材料 (パネル)	—	—
	認定番号	—	—
	$F_c$	基準強度 (圧縮)	一平方ミリメートルにつきニュ ートン
	$F_b$	基準強度 (曲げ)	一平方ミリメートルにつきニュ ートン
	$F_s$	基準強度 (せん断)	一平方ミリメートルにつきニュ ートン
	$F_{cv}$	基準強度 (めり込み)	一平方ミリメートルにつきニュ ートン
	$f_{cl}$	長期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュ ートン

	$f_{BL}$	長期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{CVL}$	長期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{CS}$	短期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{BS}$	短期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{CVS}$	短期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$K_{1-1}$	使用環境Ⅰにおけるパネルの含水率の調整係数	—
	$K_{1-2}$	使用環境Ⅱにおけるパネルの含水率の調整係数	—
	$K_2$	パネルの荷重継続時間の調整係数	—
	$K_3$	パネルの事故的な水掛りを考慮した調整係数	—
圧縮 応力 又は 座屈 荷重	$P_{cL}$ 又は $\sigma_{cL}$	長期座屈荷重又は長期圧縮応力	ニュートンまたは一平方ミリメートルにつきニュートン
	$P_{cS}$ 又は $\sigma_{cS}$	短期座屈荷重又は短期圧縮応力	ニュートンまたは一平方ミリメートルにつきニュートン
	圧縮応力判定結果	—	—
	$\lambda$	有効細長比	—
	$f_{buS}$	短期座屈許容応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{buL}$	長期座屈許容応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	座屈判定結果	—	—
脚部・頭部の引張り	$P_{NS}$	短期引張り荷重	キロニュートン
	短期引張り荷重の計算方法	—	—
	脚部・頭部の接合部の仕様	—	—
	脚部・頭部の接合部使用材料の規格、等級	—	—

	$F_{jy}$	接合部の基準許容応力	接合部一箇所につきキロニュートン
	$K_{j1-1}$	使用環境Ⅰにおける接合部の含水率の耐力調整係数	—
	$K_{j1-2}$	使用環境Ⅱにおける接合部の含水率の耐力調整係数	—
	$K_{j2}$	接合部の荷重継続時間の調整係数	—
	$f_{js}$	脚部・頭部の接合部の短期の応力に対する引張りの許容耐力	接合部一箇所につきキロニュートン
	$f_{jl}$	脚部・頭部の接合部の長期の応力に対する引張りの許容耐力	接合部一箇所につきキロニュートン
	接合部検定結果	—	—
曲げ	$\omega_s$	(短期) 等分布荷重	—メートルにつきキロニュートン
	$P_{bs}$	短期集中荷重	キロニュートン
	$\sigma_{bs}$	短期曲げ応力	—平方ミリメートルにつきニュートン
	応力判定結果	—	—

### 3. 根太又は床組・小屋組等横架材用

	項目又は記号	内容	単位
諸条件	根太等の符号	—	—
	根太等の位置	—	—
	材料(パネル)	—	—
	認定番号	—	—
	使用部位	—	—
	$F_c$	基準強度(圧縮)	—平方ミリメートルにつきニュートン
	$F_b$	基準強度(曲げ)	—平方ミリメートルにつきニュートン
	$F_s$	基準強度(せん断)	—平方ミリメートルにつきニュートン
	$F_{cv}$	基準強度(めり込み)	—平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{CL}$	長期許容圧縮応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン
$f_{BL}$	長期許容曲げ応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン	

$f_{SL}$	長期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
$f_{CVL}$	長期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
$f_{CS}$	短期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
$f_{BS}$	短期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
$f_{SS}$	短期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
$f_{CVS}$	短期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
部材群に面材をはる場合に曲げに対する基準強度に乗じる係数	—	—
積雪荷重の計算に当たり長期許容応力度に乗じる係数	—	—
積雪荷重の計算に当たり短期許容応力度に乗じる係数	—	—
$K_{1-1}$	使用環境Ⅰにおけるパネルの含水率の調整係数	—
$K_{1-2}$	使用環境Ⅱにおけるパネルの含水率の調整係数	—
$K_2$	パネルの荷重継続時間の調整係数	—
$K_3$	パネルの事故的な水掛りを考慮した調整係数	—
$E_b$	曲げ弾性係数	一平方ミリメートルにつきキロニュートン
$K_{a-1}$	使用環境Ⅰにおけるパネルの含水率の剛性調整係数	—
$K_{a-2}$	使用環境Ⅱにおけるパネルの含水率の剛性調整係数	—
$K_b$	パネルのクリープの剛性調整係数	—

	$K_c$	パネルの事故的な水掛りを考慮した剛性調整係数	—
曲げ	$\omega_L$	(長期) 等分布荷重	—メートルにつきキロニュートン
	$P_{bL}$	長期集中荷重	キロニュートン
	$P_{bS}$	短期集中荷重	キロニュートン
	$\sigma_{bL}$	長期曲げ応力	—平方ミリメートルにつきニュートン
	$\sigma_{bS}$	短期曲げ応力	—平方ミリメートルにつきニュートン
	$Z$	断面係数	立方ミリメートル
	応力判定結果	—	—
	$I$	断面二次モーメント	ミリメートルの四乗
	$\delta_b$	曲げたわみ	ミリメートル
	クリープ変形増大係数	—	—
	たわみ検定結果	—	—
せん断	$\omega_L$	(長期) 等分布荷重	—メートルにつきキロニュートン
	$P_{bL}$	長期集中荷重	キロニュートン
	$P_{bS}$	短期集中荷重	キロニュートン
	$\sigma_{sL}$	長期せん断応力	—平方ミリメートルにつきニュートン
	$\sigma_{sS}$	短期せん断応力	—平方ミリメートルにつきニュートン
応力検定結果	—	—	
めり込み	$\sigma_{cvL}$	長期めり込み応力	—平方ミリメートルにつきニュートン
	$\sigma_{cvS}$	短期めり込み応力	—平方ミリメートルにつきニュートン
	許容めり込み応力度調整係数	—	—
	応力検定結果	—	—
接合部	$Q_{jL}$	接合部長期せん断荷重	キロニュートン
	$Q_{jS}$	接合部短期せん断荷重	キロニュートン
	接合仕様	—	—
	接合部に使用	—	—

する材料の種類・規格・等級		
$F_{jy}$	接合部の基準許容応力	接合部一箇所につきキロニュートン
$K_{j1-1}$	使用環境Ⅰにおける接合部の含水率の耐力調整係数	—
$K_{j1-2}$	使用環境Ⅱにおける接合部の含水率の耐力調整係数	—
$K_{j2}$	接合部の荷重継続時間の調整係数	—
$f_{js}$	接合部の短期の応力に対する引張りの許容耐力	接合部一箇所につきキロニュートン
$f_{jl}$	接合部の長期の応力に対する引張りの許容耐力	接合部一箇所につきキロニュートン
応力検定結果	—	—

#### 4. たる木用

	項目又は記号	内容	単位
諸 条 件	たる木の符号	—	—
	たる木の位置	—	—
	材料	—	—
	規格	—	—
	樹種	—	—
	等級	—	—
	使用部位	—	—
	断面	—	平方ミリメートル
	間隔	—	ミリメートル
	$F_c$	基準強度（圧縮）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$F_t$	基準強度（引張り）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$F_b$	基準強度（曲げ）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$F_s$	基準強度（せん断）	一平方ミリメートルにつきニュートン
$F_{cv}$	基準強度（めり込み）	一平方ミリメートルにつきニュートン	
$f_{cl}$	長期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン	

	$f_{TL}$	長期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{BL}$	長期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{SL}$	長期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{CVL}$	長期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{CS}$	短期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{TS}$	短期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{BS}$	短期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{SS}$	短期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$f_{CVS}$	短期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	積雪荷重の計算に当たり長期許容応力度に乘じる係数	—	—
	積雪荷重の計算に当たり短期許容応力度に乘じる係数	—	—
曲 げ	$\omega_L$	(長期) 等分布荷重	一メートルにつきキロニュートン
	$P_{bL}$	長期集中荷重	キロニュートン
	$P_{bS}$	短期集中荷重	キロニュートン
	部材群に面材をはる場合に曲げに対する基準強度に乘じる係数	—	—
	$Z$	断面係数	立方ミリメートル
	$\sigma_{bL}$	長期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$\sigma_{bS}$	短期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュ

			ートン
	応力判定結果	ー	ー

## 5. 床組・小屋組用

	項目又は記号	内容	単位
諸 条 件	床・小屋組の 符号	ー	ー
	床・小屋組の の位置または 範囲	ー	ー
	パネルの種類	ー	ー
	認定番号	ー	ー
	接合仕様	ー	ー
	接合に使用す る材料の規格、 材質及び等級	ー	ー
せん 断	$Q_s$	(短期) せん断力	キロニュートン
	床倍率	ー	ー
	$Q_a$	短期許容せん断耐力	一メートルにつきキロニュートン